

個人投資家さま向け 会社説明会

2026年1月22日



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

加藤 貞則 （かとう さだのり）

1957年 岡山県倉敷市生まれ

1977年 総社高校 卒業

1981年 早稲田大学政治経済学部 卒業

中国銀行 入行

1993年 米・シカゴ大学経営大学院 修了

鴨方支店長、岡南支店長、システム部長など歴任

2013年 取締役人事部長

2015年 常務取締役

2017年 専務取締役（代表取締役）

2019年 取締役頭取（代表取締役）

2022年 ちゅうぎんフィナンシャルグループ 取締役社長（代表取締役）



I. ちゅうぎんフィナンシャルグループについて

- 企業プロフィール 5
- 沿革 6
- 組織体制 7
- 事業基盤 8
- 長期経営計画 9

II. ちゅうぎんの強み

- 営業戦略 13
- 投資戦略 17
- アライアンス戦略 19
- 地域貢献 21
- グループ会社の取組み 23

III. 株主還元・株主優待

- 株主還元方針 27
- 株主優待制度 28

IV. 最後に

- 国内政策金利の推移 31
- 国内金利上昇と銀行業績の関係 32
- 業績推移・利益予想 33
- 皆さまへのメッセージ 34

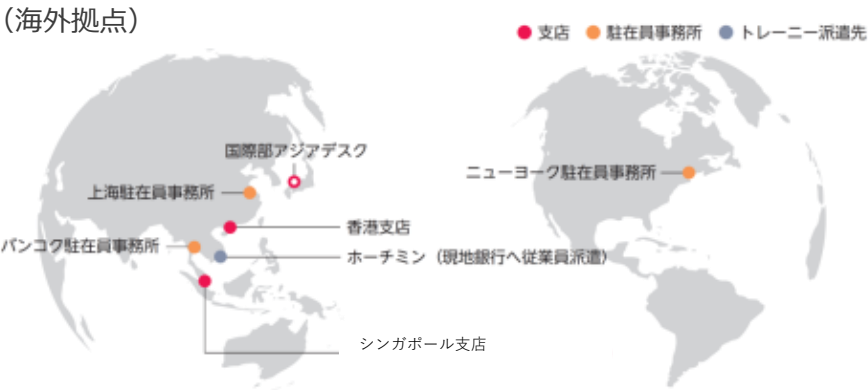
参考資料

ちゅうぎんフィナンシャルグループについて

グループ
経営理念

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

名称	ちゅうぎんフィナンシャルグループ
設立	2022年（令和4年）10月3日
所在地	岡山県岡山市北区丸の内1丁目15番20号
代表者	代表取締役社長 加藤貞則
店舗数	136か店（'25/9末、店舗内店舗およびインターネット支店除く） 国内本支店・出張所：134、海外支店：2
資本金	160億円
従業員数	4,722名（連結）（'25/3末）
証券コード	5832（東証プライム）
時価総額	4,565億円（'25/12末）



起源は第八十六国立銀行（1878年）

近隣他県の銀行との合併を経て、1930年に創立（広域地銀としてのルーツ）

2022年に持株会社体制へ移行、創立100周年に向けた新たなステージへ

創立**100**周年へ

持株会社体制へ移行
ちゅうぎんフィナンシャルグループ設立
（東京証券取引所プライム市場へ上場）

2030年

長期経営計画
『Vision2027「未来共創プラン」』
策定

2022年
（令和4年）

2017年
（平成29年）

TSUBASAアライアンス
発足

2015年
（平成27年）

中国銀行へ
商号変更

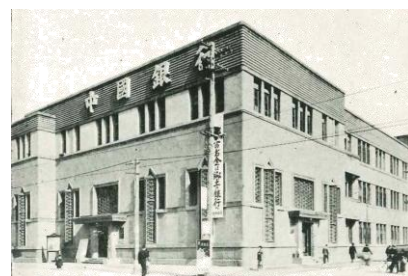
1990年
（平成2年）

東京証券取引所
第一部へ上場

1987年
（昭和62年）

多数の合併を経て
中国銀行が創立

1930年
（昭和5年）



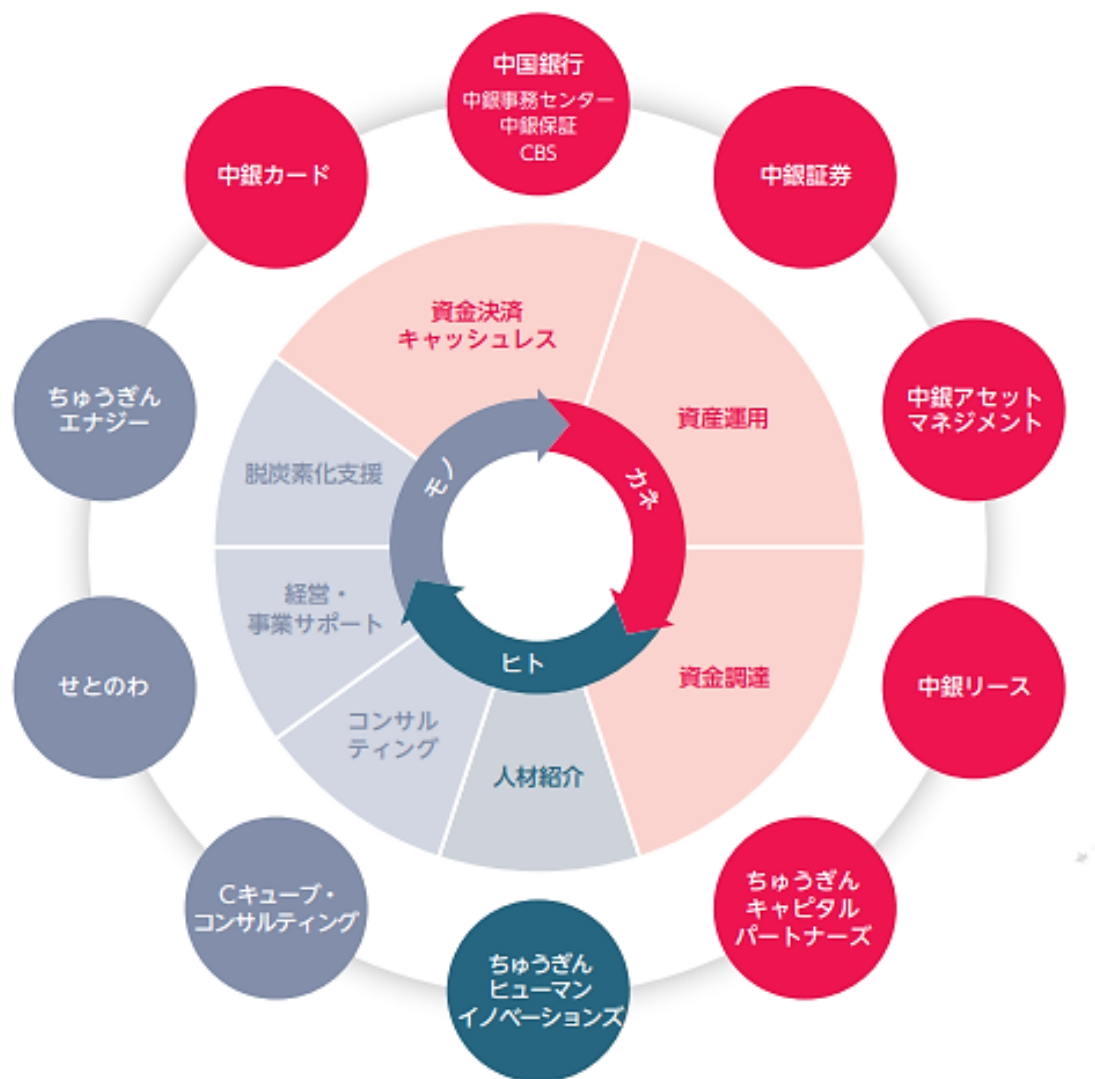
一部
証
上
場



中国銀行の源流である
第八十六国立銀行が設立

1878年
（明治11年）





2022年10月
ちゅうぎんフィナンシャルグループを設立
新たなスタート

地域社会・お客さまへ
金融を中心とした
総合サービス
を提供

【その他】 東京都：1か店
大阪府：1か店
海外：2か店（香港、シンガポール）
インターネット支店：1か店

温暖な気候と少ない災害

・岡山県は降水量1mm未満の日が多く「晴れの国」と呼ばれる温暖な気候。



岡山県276.7日 全国1位！
（降水量1mm未満年間日数 気象庁）
（1991年～2020年の30年間平均）

交通の要衝

・岡山県は東西、南北に高速道路が交わる本州と四国のクロスポイント。
・営業倉庫規模は中四国最大。
・近年は物流拠点の新增設が相次ぎ、全国のメーカーや流通企業の拠点が数多く進出。



SDGs先進県としての岡山県

・行政、大学・教育機関、地元企業、金融機関などが連携し、地域全体でSDGsに対する取組みが進む。
『SDGs未来都市』岡山市、真庭市、西粟倉村、倉敷市、備前市
『脱炭素先行地域』真庭市・西粟倉村、瀬戸内市
『デジタル田園健康特区』吉備中央町



豊富な森林資源

・日本有数の木材生産地であり、また豊かな水源と多様な生物に恵まれた自然の宝庫。
・バイオマス等の再生エネルギーを活用して地域の活性化が進むなど、循環型社会への取組みが加速。

全国有数の工業地帯

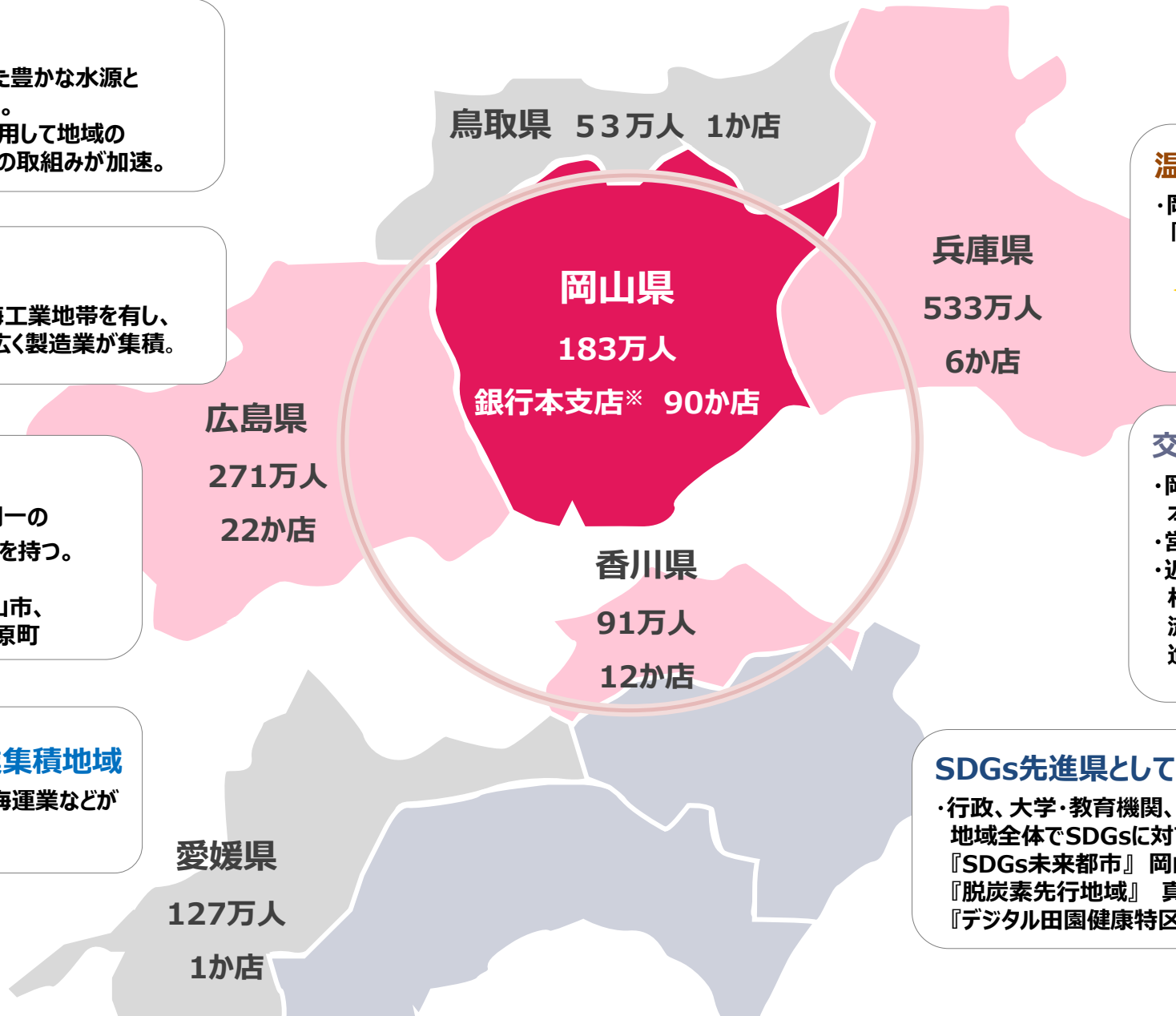
・南部では全国でも有数の水島臨海工業地帯を有し、石油、化学、鉄鋼、自動車など幅広く製造業が集積。

広域な東瀬戸経済圏

・岡山県、香川県、備後地区※は同一の広域経済圏として高いポテンシャルを持つ。
※岡山県：笠岡市、井原市
広島県：三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町

国内でも代表的な海事産業集積地域

・瀬戸内海沿岸は、多くの造船業、海運業などが集積する海事産業拠点。



人口減少等の社会環境の変化に打ち克ち、持続可能なビジネスモデルを構築すべく、
2017年3月に期間10年の長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』を策定。

【長期ビジョン達成にむけたフレームワーク】



豊かな未来を創る取組み

- 提供するサービスの質の向上
- サービスを提供する機会の拡大



経営の土台を創る取組み

- サービスを提供するための体力の強化
- 一人ひとりの心の変革と組織風土改革

2017年度 ← 3年間 → 2020年度 ← 3年間 → 2023年度 ← 4年間 → 2026年度

長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅠ」

構造改革（ハード面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅡ」

行動改革（ソフト面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

ちゅうぎんの強み

1. 営業戦略
2. 投資戦略
3. アライアンス戦略
4. 地域貢献
5. グループ会社の取組み

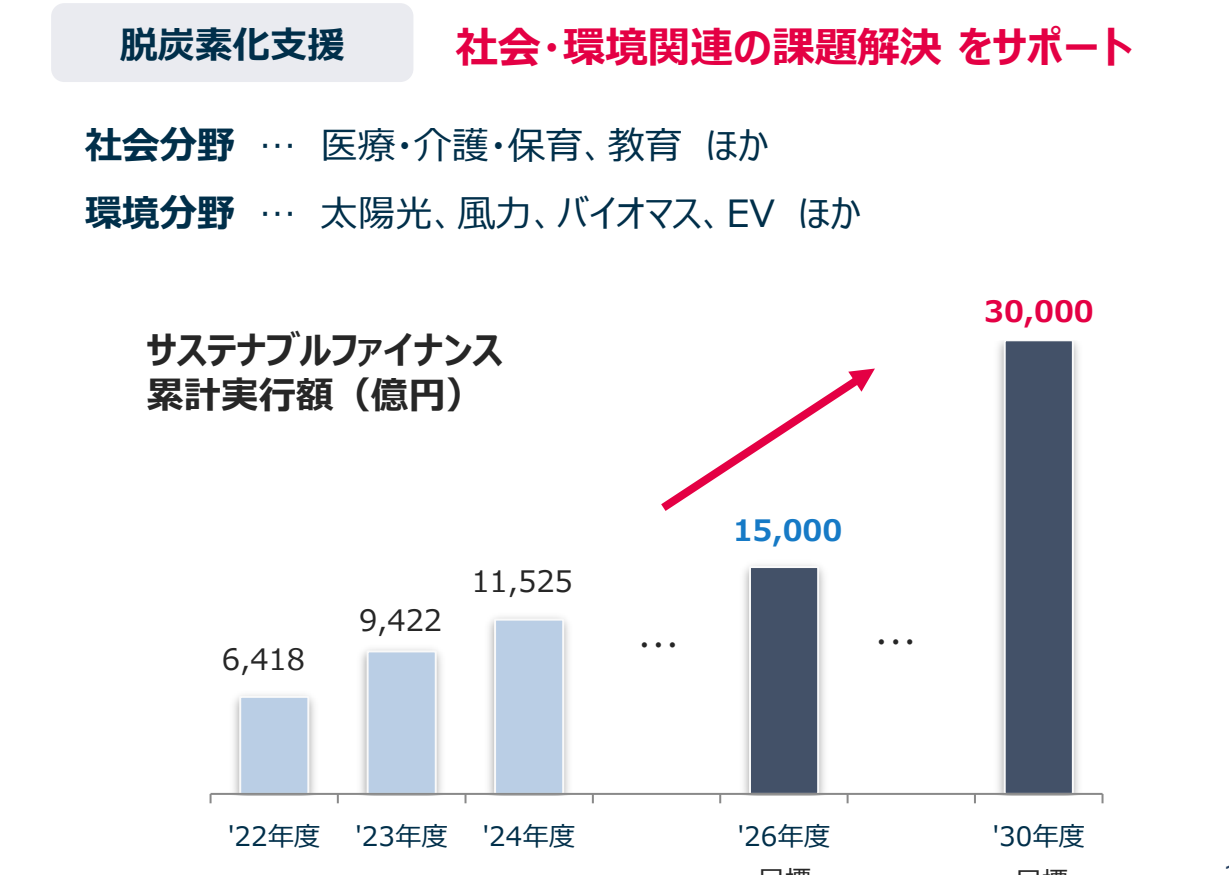
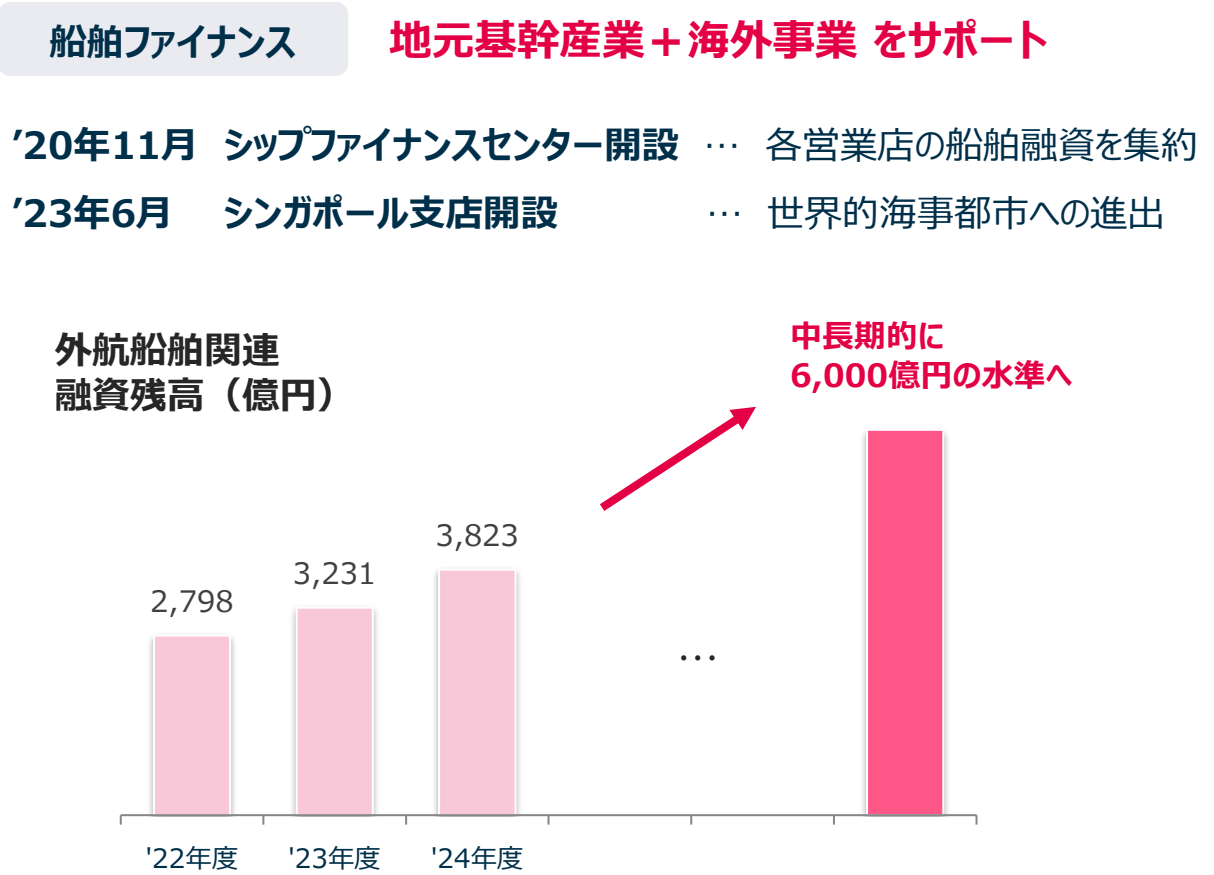
営業戦略

地元事業性

「地域特性」や「ニーズ・課題」にお応え

＜重点領域（法人戦略）＞

船舶ファイナンス	脱炭素化支援	売上向上・新規事業
人手不足・働き方改革	事業承継・M&A	スタートアップ・ベンチャー育成支援



個人ローン

業務プロセス改革（住宅ローン申込）

これまで

2024年7月～

約 80項目
(手書き)

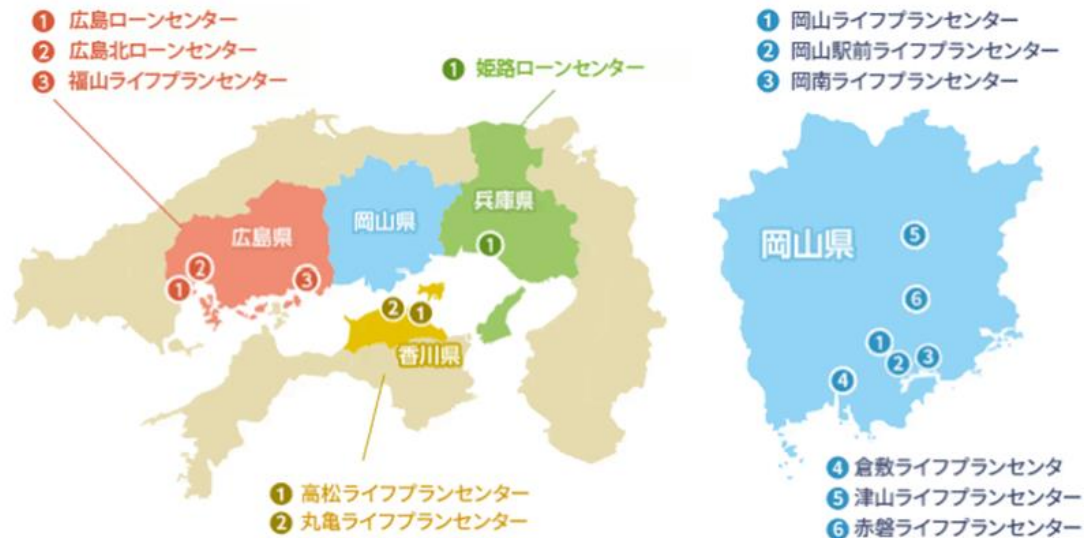
約 20項目
(Web入力)

- ・ オンライン完結による利便性向上
- ・ 審査時間短縮

アプローチ拠点の強化

ライフプランセンターの新設

岡山駅前（'24年8月）丸亀（'24年9月）岡南（'25年9月）高松（'25年11月）



住宅ローン事前審査件数（件）

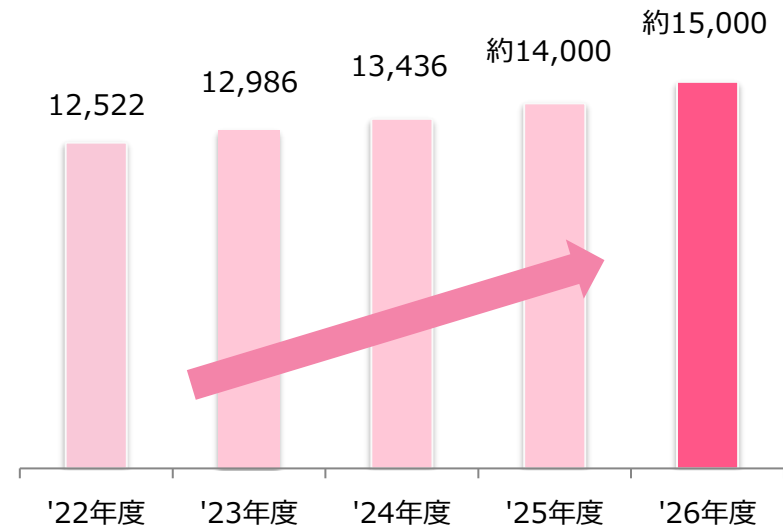
約6,000件

（'25年度中間期）

前年同期比
+ 約50%

審査案件を取込み、
残高増加へ

個人ローン平残推移（億円）



チャンネル戦略

「利便性向上」や「接点拡充」を図り、
“ ちゅうぎん ” をご利用いただきやすい体制へ

(イメージ)

	デジタル	アプリユーザー増加
デジタル (アプリ等)	各種センター	非対面接点拡充 資産運用サポートデスク開設
休日営業拠点 (ライフプランセンター等)	休日営業拠点 (ライフプランセンター等)	ライフプランセンターの 増設・拡充
ATM	ATM	採算性・効率化
店舗 (支店)	店舗 (支店)	上記の接点拡充とあわせ 店舗網を最適化 (コンサルティングの場)

これまで

これから

ちゅうぎんアプリ

機能を拡充して利便性を向上

- ・ キャンペーン定期預金
- ・ 定期預金新規口座開設
- ・ 普通預金口座開設
- ・ 喪失・再発行手続 など



資産運用サポートデスク 開設

現役世代を中心に接点を拡充

(平日夜間・休日営業、電話・WEB面談)

西条支店 (広島県) 開設

対面での接点を拡充

(ライフプランセンターを併設予定 (2026年春頃))

投資戦略

投資戦略

アセット戦略

ROE拡大に向けた本部専門部署の運用



投融資の多様化（国内外）とリスク分散



高度な知見の蓄積と地元案件への活用



収益機会の追求



マーケット環境に応じた運用の高度化

ストラクチャードファイナンス

+ 案件組成による手数料収益の獲得

貸出金
約1.3兆円

※25中間平残

プロジェクトファイナンス等

再生エネルギー

不動産ノリコース

船舶・航空機

コーポレート

証券化ローン等

信用リスク

金利リスク

資産
効率の
上昇

有価証券運用

有価証券
約2.9兆円

※25中間平残

運用資産（マーケット運用）

邦貨債券

株式

外貨債券

投資信託

金利上昇を捉えたオペレーション

株式・投資信託の評価益の活用

→ 過去の邦貨債券の入替

利回り
改善の
加速

アライアンス戦略

TSUBASAアライアンス

※10行合計 2025.9末時点

各地域のトップバンク10行が参加する地銀最大のアライアンス
ー 総資産合計はメガバンクに次ぐ規模 ー

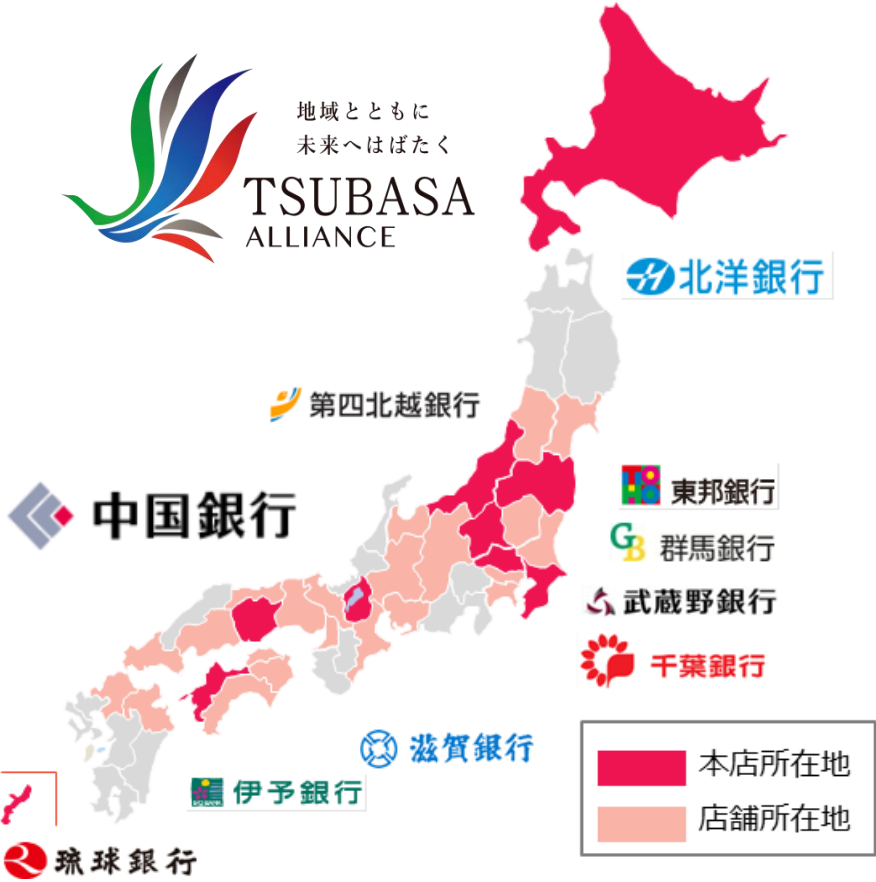
総資産99兆円

個人顧客2,380万人

法人顧客221万先

＜主な取組み＞

トップライン増強	協調融資
	M & A業務
	相続関連業務
コスト削減 ・ システム安定運用	システム共同化
	FinTech共通基盤、アプリ開発
	バックアップ拠点の相互利用
業務の高度化 ・ 人材交流	マネーロンダリング対応の高度化
	お客さま向け海外商談会 (シンガポール、上海、バンコク)
	研修、トレーニー制度



地域貢献



SDGs×鏡野町

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

SDGs×真庭市

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定
 - 地域新電力会社の設立
- まにわっと電力株式会社

SDGs×新庄村

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定
- 持続可能な森づくりを目指す造林事業
- DX推進支援事業

SDGs×高梁市

- 地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定

SX×府中市

- 脱炭素社会実現に向けた地域経済分析および再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査業務

SX×福山市

- 地方創生に関する包括協定

SX×倉敷市

- 地方創生に関する包括協定

DX・SX・SDGs×三豊市

- AI・IoT等先端技術を活用した産業振興
- 脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定
- 持続可能でより魅力的な産業、三豊市農業の実現に向けた連携と協力に関する協定

SX×岡山県

- 地方創生に関する包括協定

SX×津山市

- 脱炭素先行地域申請支援業務

SX×西粟倉村

- 「脱炭素先行地域」共同提案
 - 地域新電力会社の設立
- 西粟倉百年の森林でんき

SX×美作市

- 地方創生に関する包括協定

SX×和気町

- 地域の脱炭素に係る連携と協力に関する包括協定

DX・SX・SDGs×岡山市

- 地方創生に関する包括協定
- SDGs連携パートナーズ制度に係る普及及び登録事業者の取組み推進に関する協定
- 「エンパイ for 中国銀行」を公立幼保施設に導入
- 岡山市スマート窓口に向けたBPR業務の受託
- 岡山市令和7年度ゼロカーボン研究会運営業務の受託

SX×瀬戸内市

- 「脱炭素先行地域」共同提案
 - 地域新電力会社の設立
- 瀬戸内市民電力株式会社

SX×玉野市

- 地方創生に関する包括協定

※ 赤字はキューブ・コンサルティングによる受託業務
青字はちゅうぎんエナジーによる出資

グループ会社の取組み



Cキューブ・コンサルティング

DX/SXを核とした高度なコンサルティングを提供

社名の由来

Cchugin Financial Group「ちゅうぎんフィナンシャルグループ」× CCommunity「地域社会」× CCo-Creation「共創」

特徴

1.	地方創生に熱い思いを持った スタートアップ
2.	広域 の社会課題解決（BtoX）
3.	ちゅうぎんグループの 総合力 で地域をデザイン
4.	中国銀行の 信用力 /地域リレーション活用

代表者をはじめとして大手コンサル出身者が多数在籍

<構成メンバー>



中国銀行出向者



総勢**32名**
（'25/7末）



SX担当者



DX担当者

外部出身者

2024年度の取組み

DX

岡山市 スマート窓口に向けたBPR業務の受託

市民のサービス向上や職員の業務効率化に向けてBPR（業務改革）を推進

窓口支援システムでの手続き最適化

新庁舎開庁時点の手続きを最適化

窓口支援システム稼働時点と
新庁舎開庁時点の動線の設計

スマート窓口とは

デジタル技術を活用し、待ち時間の短縮と利便性向上を
実現する新しい窓口サービス

SX

新庄村 持続可能な森づくりを目指す造林事業委託業務の受託

造林業および育林業の育成並びに村内の林業事業者のさらなる成長を
促すことを支援

実績状況

※2022年度設立～2025年12月末時点 累計

新規契約
受託数

145件

新規契約
受託額

1,535百万円

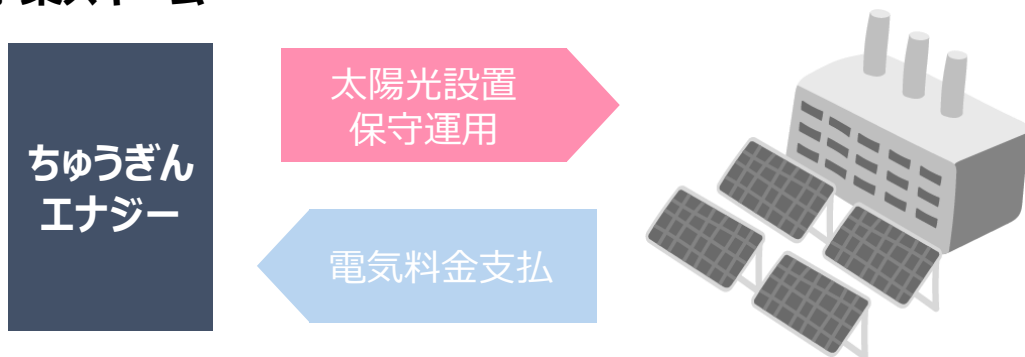
ちゅうぎんエネルギー

【太陽光PPA※事業など】

地域・お客さまの**脱炭素化**、**電力の地産地消**を後押し

※ PPA(Power Purchase Agreement)...電気を発電する電力事業者と、需要家（電力の使用者）との間で結ぶ「電力販売契約」

事業スキーム



実績状況 ※2025/9末時点

契約
施設数

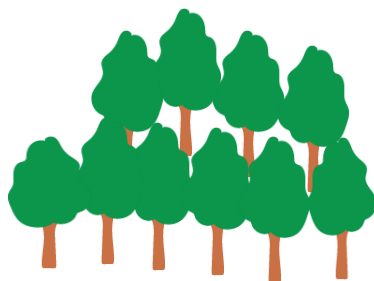
49施設

総契約
容量

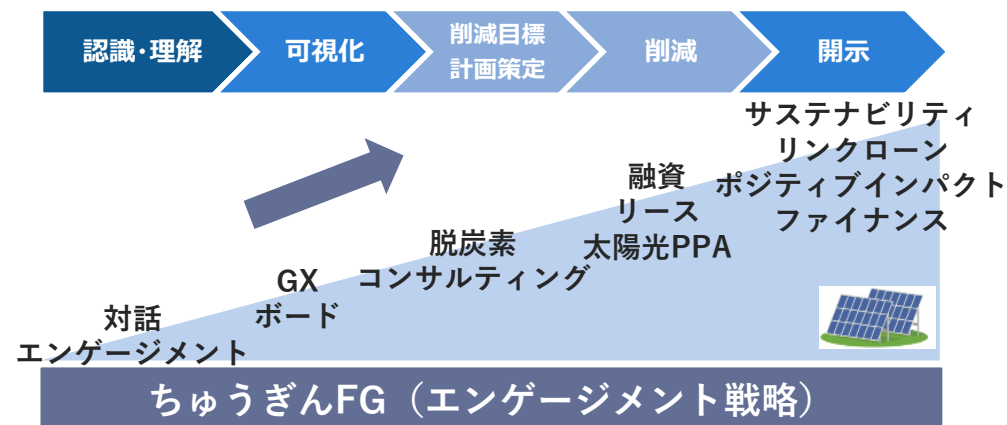
15.2MW

CO₂削減量

6,741 t-CO₂/年（今後設置予定分含む）
（約2,700世帯分相当の吸収量）



地域のお客さま



地域新電力

エネルギーの地産地消、域内でのエネルギー循環を目指し、
民間企業との**共同出資による地域新電力会社**を設立



創業支援

地域を代表する企業の創出へ

✓ プログラム参加者数 **約470名**

✓ 新設法人数 **36社**

※2017年度～2025中間 累計

伴走支援

✓ 投融資実績 **約40億円**

※プログラム参加先への投融資
(中国銀行、ちゅうぎんキャピタルパートナーズ)
※2017年度～2024年度累計額

リスクマネー供給（エクイティ支援）

✓ インフィニティファンド **約19億円（スタートアップ62社 うち地元関連31社）**



- ・岡山ならびに全国を対象に“地域課題解決型企業”をテーマに出資
- 地域にイノベーションと新しい価値を生み出す先進的企業との連携を通じて
- 地域社会の活性化を目指す。



人手不足

当行行員の人材紹介サービス
(主に55歳以降の役職定年を迎えた行員)

ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ

紹介件数・出向コンサル件数 **200件超**

※2022年度設立～2025中間 累計

労働力不足の解消 ・ 地域貢献

日経リスティングアワード 2025企業・団体
イノベティブ部門
最優秀賞 受賞



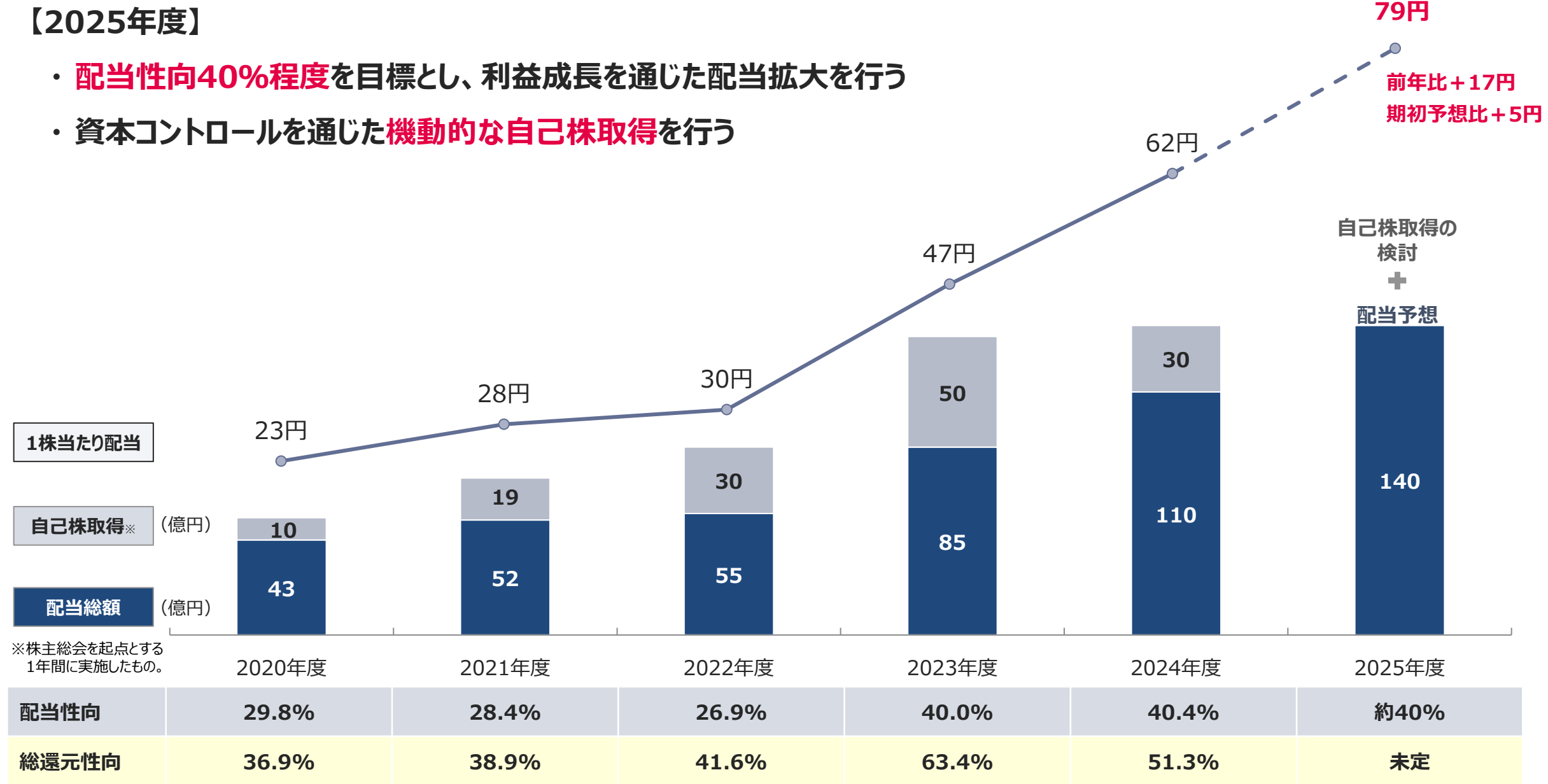
- ・出向者を地域経済を支える「人的資本」と捉え、地域へ還元することで地方創生の一端を担う
- ・「セカンドキャリア支援型」のリスティング



株主還元
株主優待

【2025年度】

- ・ 配当性向**40%程度**を目標とし、利益成長を通じた配当拡大を行う
- ・ 資本コントロールを通じた**機動的な自己株取得**を行う



※株主総会を起点とする
1年間に実施したもの。

’20年度以降：中国銀行連結利益ベース、’22年度以降：ちゅうぎんFG連結利益ベース

【株主優待制度の対象となる株主さま】

基準日（3月31日）現在の株主名簿に記録された500株（5単元）以上保有の株主さまのうち、**継続して1年以上保有（※）**している株主さま。

（※）「継続して1年以上保有」とは、基準日（3月31日）の株主名簿に記録され、毎年3月31日、6月30日、9月30日、および12月31日現在の株主名簿に同一株主番号で連続して5回以上記録されていることをいいます。

【株主優待制度の内容】（3コースより、いずれか一つをお選びいただけます）

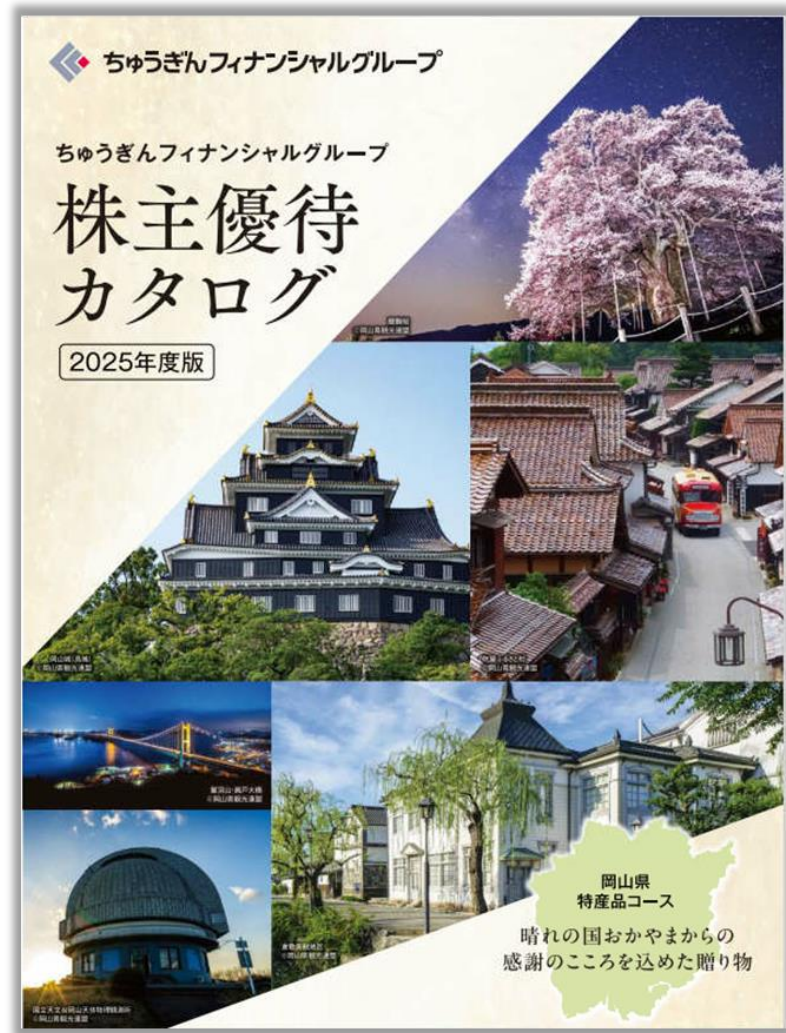
1. 岡山県特産品コース

カタログに記載された特産品からお好みの商品をお選びいただけます。

保有株数	優待商品
500株以上 5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

2. 寄付金コース

3. TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース





「晴れの国おかやま」の特産品等を
多数取り揃えています



最後に

(単位：%)

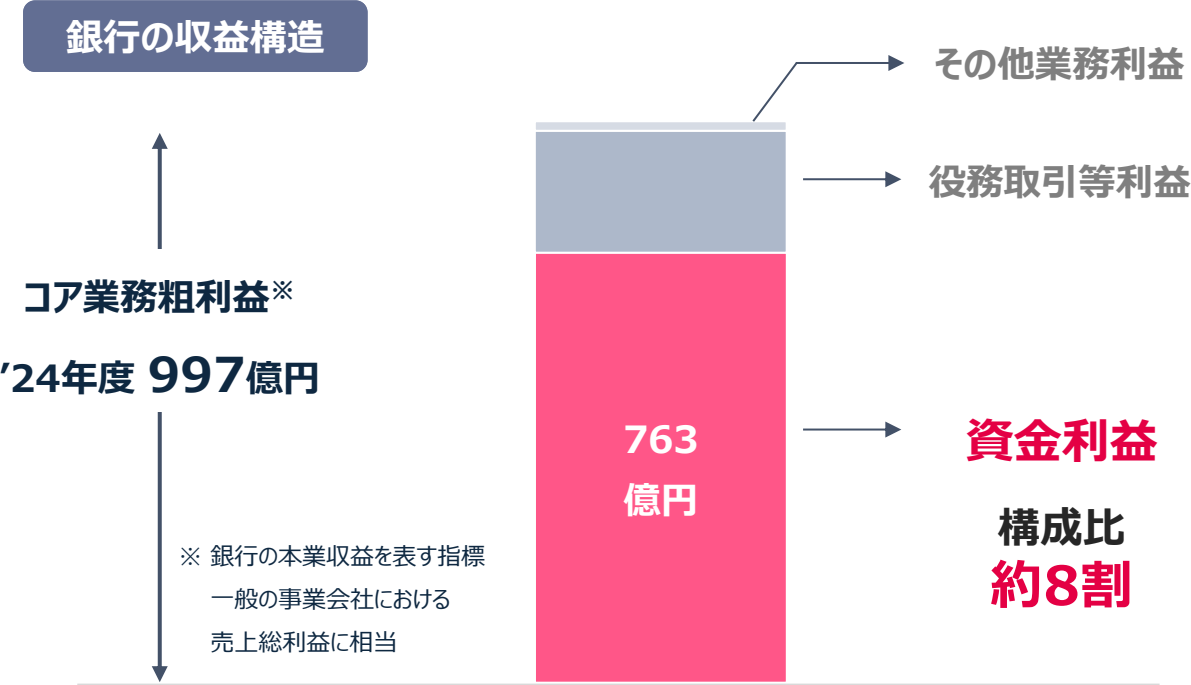
金利ある世界の到来、大きな転換点

これまで：長期にわたる超低金利、金融業にとっては非常に厳しい収益環境

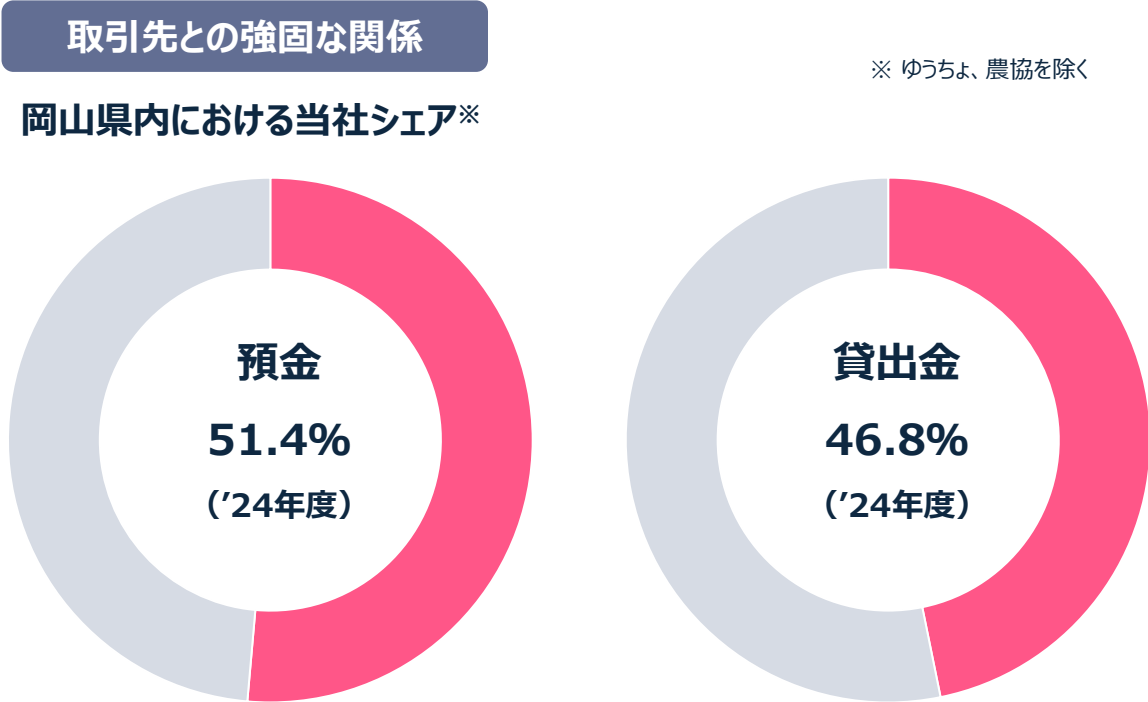


これから：'24年3月以降の段階的な利上げにより、足元の政策金利は0.75%（約30年ぶりの水準）





(地銀は国内業務が主体のため、メガバンクと比べても国内金利上昇の影響が大きい)



地元における圧倒的なシェアに裏付けられた、

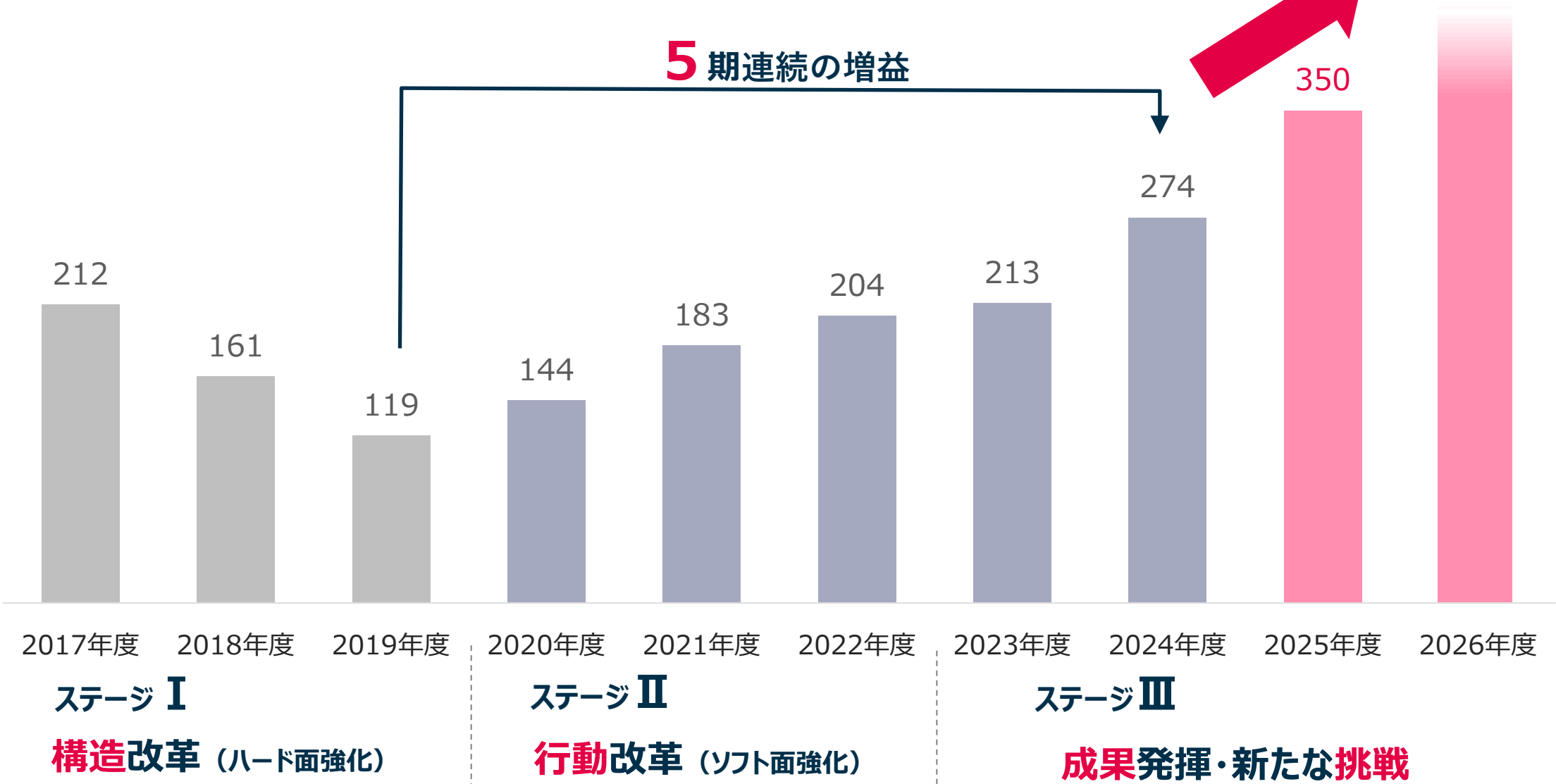
- ✓ 安定的（かつ市場対比で低利）な預金 … **調達**
- ✓ 貸出金による積極的なお取引先の支援 … **運用**

⇒ **金利上昇**による**資金利益（利ざや）**の拡大を見込む

親会社株主に帰属する当期純利益（億円）

更なる利益成長へ 400以上

5期連続の増益



戦略

グループ一体となって総合金融サービスを追求し、
企業価値向上のため、地域の持続的発展に貢献

業績

5期連続の増益、今後も更なる利益成長へ

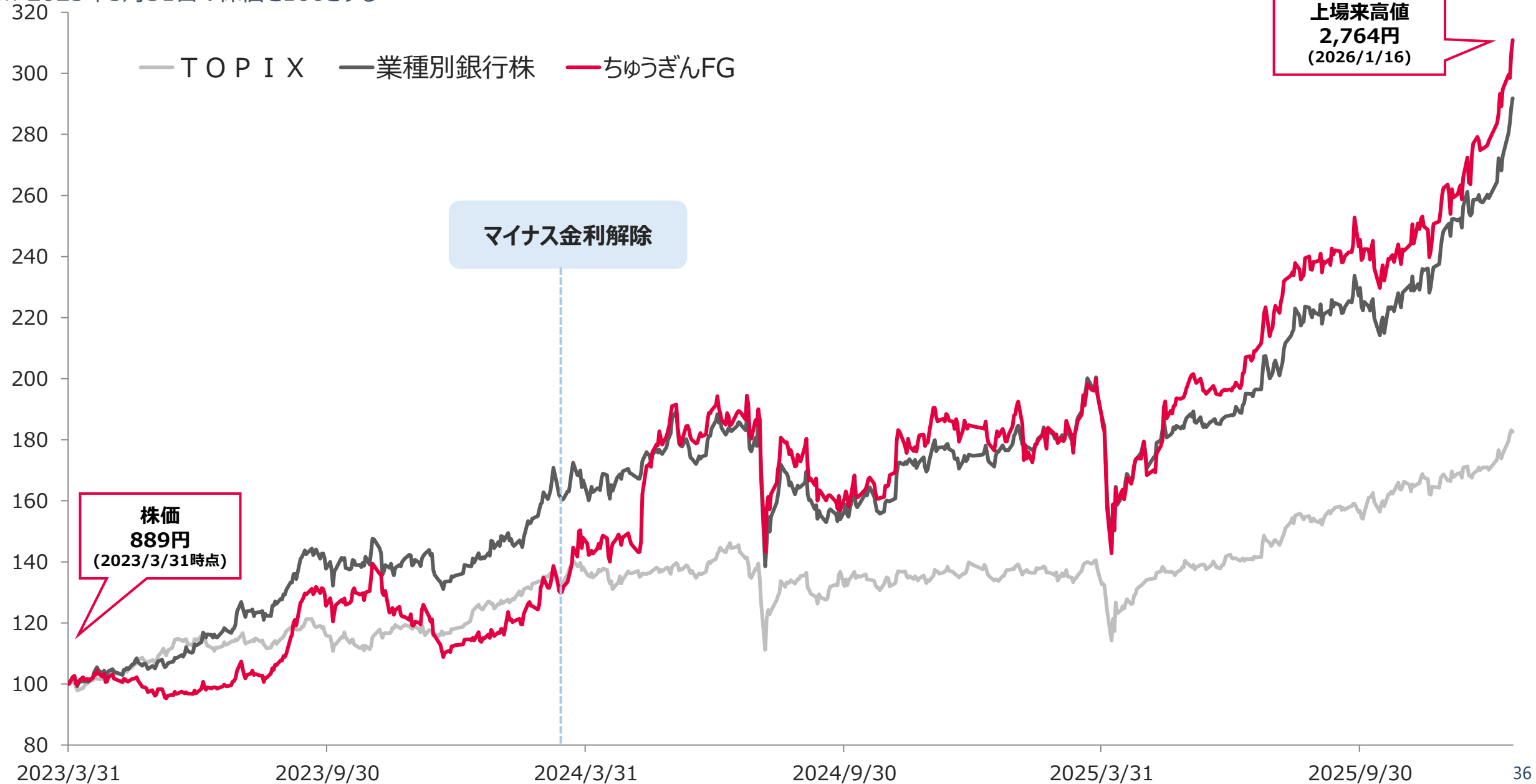
還元

配当性向40%程度を目標として、利益成長に伴う配当拡大

參考資料

株価推移

※ 2023年3月31日の株価を100とする



グループ連結 (億円)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	予想	増減
連結経常利益	212	258	295	311	383	500	117
親会社株主に帰属する当期純利益	144	183	204	213	274	350	76

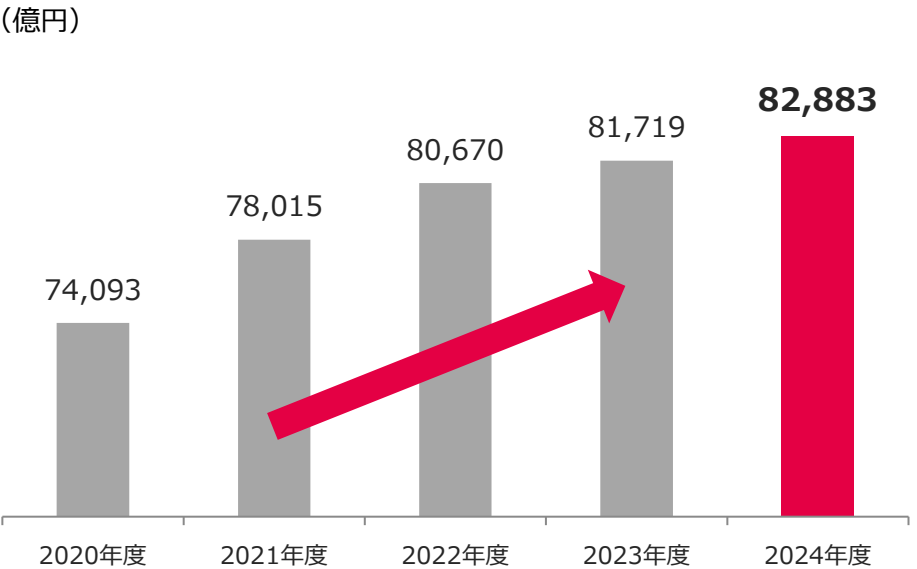
<参考：中国銀行単体>

コア業務粗利益	763	802	867	843	997	1,144	147
経費（▲）	527	519	513	528	552	617	65
コア業務純益	235	283	354	314	445	526	81
うち 与信費用（▲）	80	76	50	85	134	70	▲ 64
うち 有価証券関係損益	50	30	▲ 17	48	25	▲ 7	▲ 32
経常利益	190	234	275	266	345	458	113
当期純利益	130	169	193	184	252	322	70

預金

8.2兆円

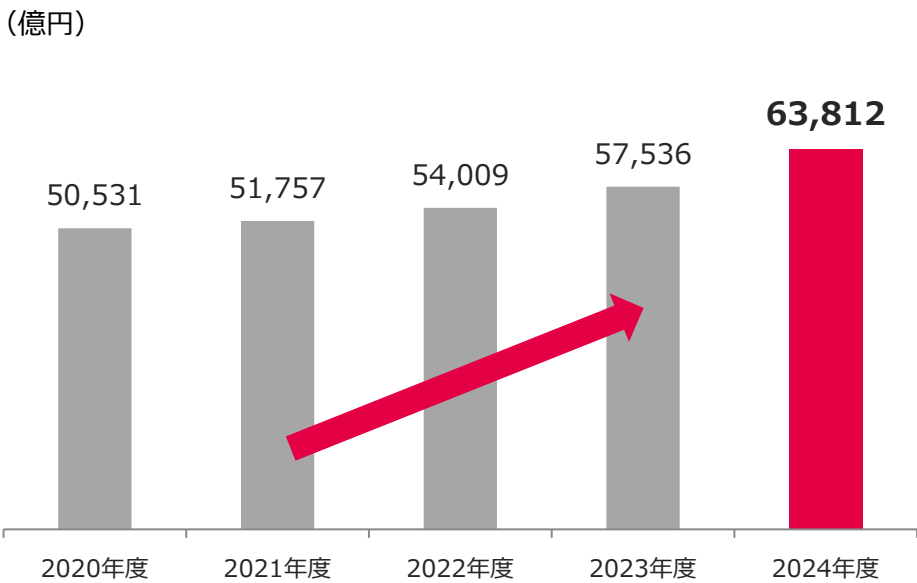
(預金 + NCD)
(2024年度平残、銀行単体)



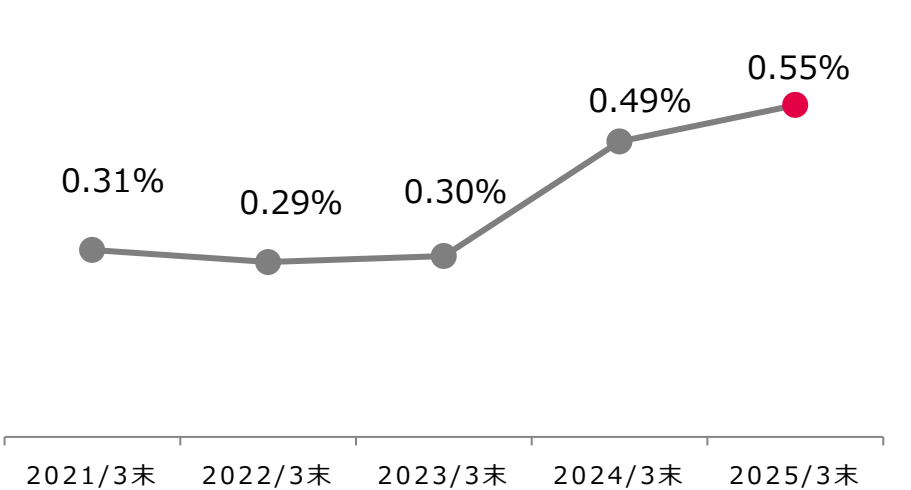
貸出金

6.3兆円

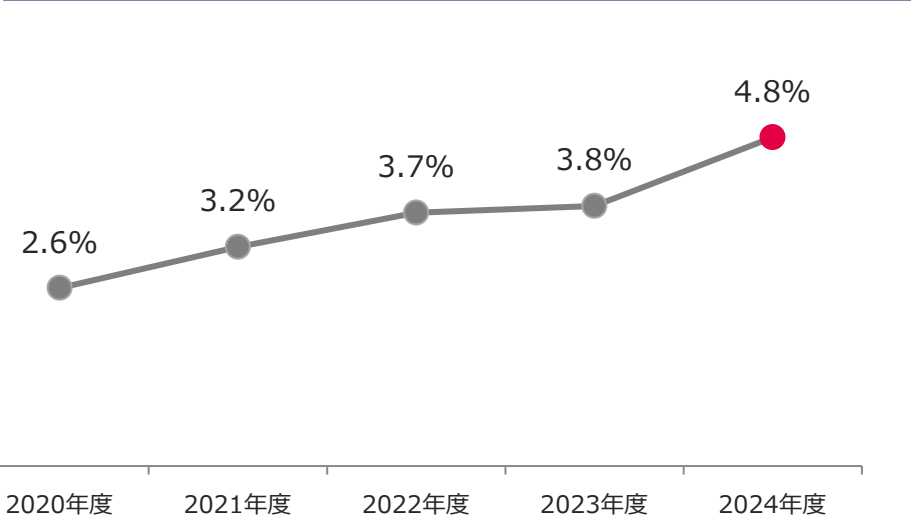
(2024年度平残、銀行単体)



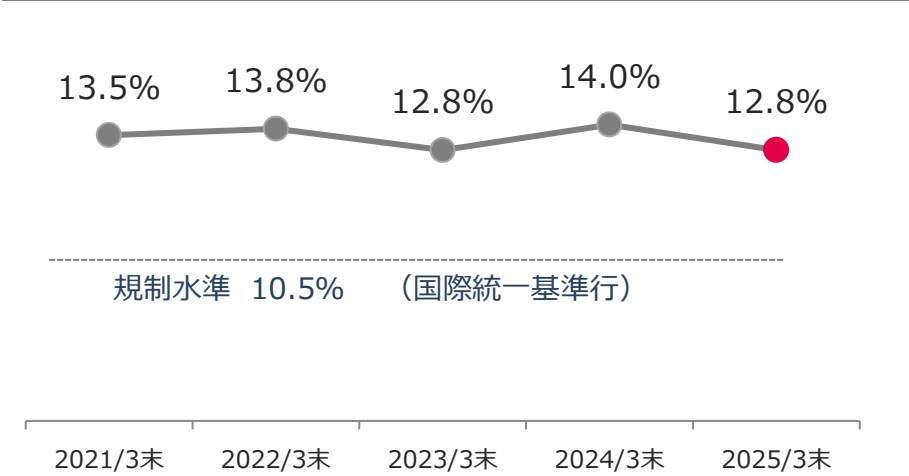
PBR
(株価純資産倍率)



ROE
(自己資本利益率)



連結総自己資本比率
(国際統一基準)



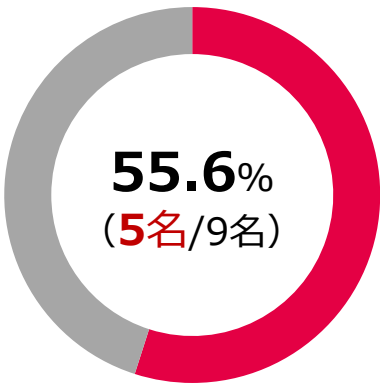
外部格付

<R&I>		
ちゅうぎんフィナンシャルグループ	...	A+
中国銀行	...	A+
<Moody's>		
中国銀行	...	A2

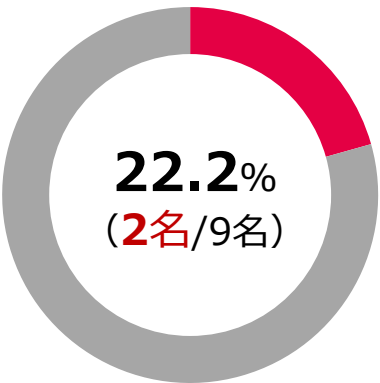
※ いずれも2025年1月末時点

ガバナンス（取締役会の構成）

社外取締役



女性取締役

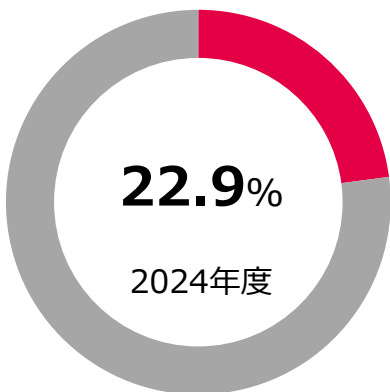
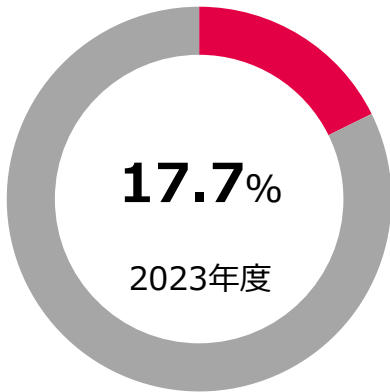


社外取締役の主な経歴

福原 賢一	元 野村證券株式会社取締役 元 株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長 現 株式会社ウイズ・パートナーズ社外監査役
八劔 洋一郎	現 イグレック株式会社理事 現 内閣サイバーセキュリティセンター情報セキュリティ指導専門官 現 ジオテクノロジーズ株式会社代表取締役社長CEO
清野 幸代	元 岡山弁護士会副会長 現 きよの法律事務所弁護士
人見 康弘	元 株式会社シマノ取締役 元 株式会社シマノ顧問
生越 栄美子	元 有限責任監査法人トーマツパートナー 現 生越公認会計士事務所代表

D&Iの実現

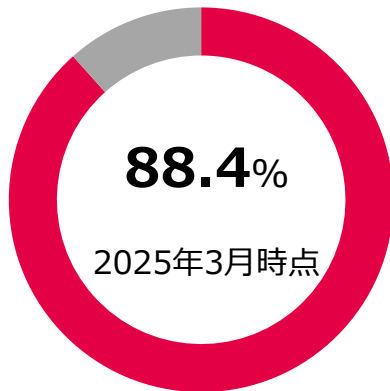
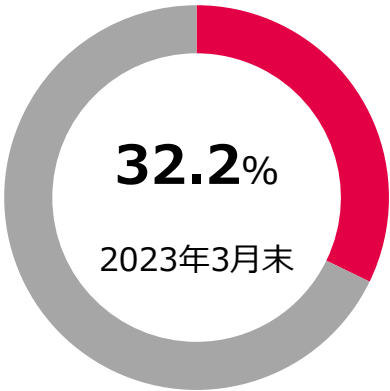
女性管理・監督者比率



※'26年度KPI…25%、'30年度KPI…30% ※ 2025年3月末時点

人的資本投資

従業員持株会加入率



①持株会奨励金の増額 ⇨ 加入者のインセンティブ強化
②株式インセンティブ制度 ⇨ 株式価値の共有



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問合せ先

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 経営企画部 清水・松尾

TEL : 086-234-6519

Eメール : souki01@chugin.jp